

2 時制 (参 pp. 72~107)

基本問題

1

- (1) lies (2) started (3) comes (4) belongs (5) had lived (6) have wanted

解説

- (1) 「日本は太平洋の西の地域にある」

変わらない事実を表すには、現在時制を使う。

- (2) 「彼は15歳のとき、友人たちとバンドを始めた」

過去のある時点(=when he was ...)に行った動作を表すには、過去時制を使う。

- (3) 「彼が戻って来る前に君に彼の秘密を教えてあげよう」

before以下は「時」を表す副詞節なので、未来のことでも現在時制を使う。

- (4) 「彼女は学校のブラスバンドに所属している」

belong to ~は「~に所属している」という継続的な状態を表す動詞なので、普通 進行形にはできない。

- (5) 「彼は私に5年前はどこに住んでいたのか尋ねた」

「彼が尋ねた」より「私が住んでいた」のほうが時間的には前のことなので、過去完了形を使う。

- (6) 「高校時代から私は(ずっと)医者になりたいと思ってきた」

過去の一時点から(since ~)現在までの状態の継続(ずっと~している)は現在完了形で表す。

2

- (1) was watching (2) had been (3) will have had (4) has been reading

解説

- (1) 過去のある時点(=when I came ...)で進行中の動作を表すには、過去進行形を使う。

- (2) 過去のある時点(=when I called ...)までの状態の継続を表すには、過去完了形を使う。

- (3) 「明日」(=tomorrow)が未来の時点を示し、そこまでの状態の継続(ずっと~していることになるだろう)を表すので、未来完了形にする。

- (4) 過去のある時から現在まで「ずっと読書している」という動作の継続を表すには、現在完了進行形を使う。

3

- (1) won't (2) coming (3) am going (4) will be flying (5) is raining

解説

- (1) 「~するつもりだ」という主語の意志を表すwillの否定形は、won't(=will not)を使う。

- (2) 現在進行形が近い未来の予定を表す用法。

- (3) 前から意図・計画していることについて「～するつもりだ」という意味を表すには、〈be going to + do(動詞の原形)〉を使う。
- (4) 現在からみた未来(明日の今ごろ)の進行中の動作を表すには、未来進行形を使う。fly to ~「～へ飛行機で行く」
- (5) 現在のある時点での進行中の動作を表すには、現在進行形を使う。

4

- (1) has [b] (2) had spent [a] (3) have they known [c] (4) will have [b] (5) been [a]

解説

- (1) 「彼女は今までに一度も留学したことがない」

現在までの経験を表すには、現在完了形を使う。

- (2) 「警察がどろぼうを捕まえたときには、どろぼうはすべてのお金を使ってしまっていた」

過去のある時点までの動作の完了を表すには、過去完了形を使う。

- (3) 「彼らは知り合ってどれくらいになりますか」

過去のある時から現在までの状態の継続を表すには、現在完了形を使う。

- (4) 「もう一度沖縄へ行けば、私はそこへ5回行ったことになる」

未来のある時点までの経験を表すには、未来完了形を使う。

- (5) 「友人を見送りにちょうど駅へ行ってきたところだ」

have been to ~は「～へ行ってきたところだ」の意味。have gone to ~は「行ってしまった(今ここにはいない)」という意味なので不可。visit も他動詞で to を必要としないため不可。

5

- (1) when she will come back from America
 (2) will have been working for that company
 (3) lost the camera I had bought

解説

- (1) when 以下は know の目的語で「いつ～か」という意味の名詞節のため、未来の事柄は未来を表す表現を用いる。時を表す副詞節ではないので注意。

- (2) 来年の3月(=next March)という未来のある時点までの動作の継続を表すには、未来完了進行形を使う。

- (3) 過去のある時点よりも前に起こったことを表す(大過去)には、過去完了形を使う。

FOR COMMUNICATION

- (1) c (2) a (3) a

解説

(1) A 「電話が鳴っているよ。出してくれない？」

B 「いいよ、ぼくが出るよ」

主語の意志を表す表現のうち、その場で「～しよう」と思ったことにはwillが、前から予定や計画をしていることにはbe going to doが用いられる。この場合はその場で生じた意志なので、cを選ぶ。

(参) p. 78 使い分けよう！3)

(2) A 「何してるの？」

B 「荷造りをしているんです。来月大阪に引っ越すんですよ」

「来月(に)」という近い未来の予定を表すには、現在進行形のaを選ぶ。

(参) p. 82, p. 83 使い分けよう！4)

(3) A 「私の研究を手伝っていただけるといいのですが」

B 「いいですとも」

I am hoping that ～はI hope that ～よりていねいな表現。wantはthat＋節をとれず、wish that ～は仮定法にする必要があるため不可。wonder that ～は「不思議だと思う」という意味で不可。

(参) p. 85 使い分けよう！5)

発展問題

1

(1) comes (2) is drinking (3) will have left (4) will be taking (5) had been talking

解説

(1) 「春が来る前に寒い日がもっとあるでしょう」

before ～は時を表す副詞節であるため、未来のことも現在形で表す。

(2) 「私の母は普通お茶を飲みます、でも今はコーヒーを飲んでいます」

動作動詞は現在進行形で「一時的な進行中の動作」を表す。

(3) 「私はあなたが駅に到着するまでに電車が出発してしまうのではないかと心配だ」

未来のある時点(=by the time you get ...)までの動作の完了を表すには、未来完了形にする。

(4) 「来週の月曜日の今ごろ、私たちは試験を受けているだろう」

現在からみた未来(来週の月曜日の今ごろ)の進行中の動作を表すには、未来進行形を使う。

(5) 「私が姉[妹]の部屋に入ったとき、彼女は1時間電話で話し続けていた」

過去のある時点までの動作の継続を表すには、過去完了進行形を使う。

2

(1) when I was about to leave home

(2) husband is always complaining of

(3) Nobody has ever told me such a strange story

解説

- (1) 「まさに～しようとしている」という意味を表すには、〈be about to+動詞の原形〉を使う。be going to *do*よりもさらに目前に迫っている未来を表す。
- (2) 「いつも～してばかりいる」という意味を表すには、alwaysなどの副詞(句)を伴った現在進行形を使う。
- (3) 「だれも私に告げることがない」と考え、nobodyを主語にして「経験」を表す現在完了形を用いる。

3

- (1) d → is using
- (2) d → went

解説

- (1) 「ウィリーが電話を使用中なので、君はもう少し待たないといけない」
文の意味から、since(~なので)以下が現在進行中の動作を表すとわかる。よって、下線部dを現在進行形のis usingにする。
- (2) 「このことについてはっきりは言えないが、兄が昨年ヨーロッパにいた時、兄は英国へ行ったのだと思う」
that節の中にlast yearという過去の一時点を表す表現が用いられているので、時制は現在完了形ではなく過去形を用いる。

4

- (1) [that / which] her mother had bought for her birthday
- (2) has been married to her for ten years
- (3) I went to Okinawa when I was a high school student. / When I was a high school student, I went to Okinawa.

解説

- (1) イヤリングを買ったのはなくした時点よりも前なので関係詞節中の動詞は過去完了にする(大過去).
for A's birthday 「Aの誕生日のお祝いに」
- (2) 「…して～年になる」は英語では何通りかで表現できる。It is[has been] ten years since Takuya married her. / Ten years have passed since Takuya married her.でも同じ意味。
- (3) 「行ったことがある」という日本語につられて現在完了形を使わないよう注意。「高校生だったときに」は明らかに過去の時点を表すので、過去形で表す。